

1

着用

短い

湖

4
自負

5
岸

6
飲む

2

1
たまご

2
アゲハチョウ

3
③
エ

④
ア

⑤
イ

4
(記述題)

5
A
出

B
の

C
うら

6
ふ化を心待

7
ウ

8
I
お兄ち

II
三匹の

3

1
①
ウ

②
ア

③
イ

(1完答)

2
A
ウ

B
イ

C
ア

D
エ

3
I
太

II
赤

4
I
11

II
平均気温

5
農耕や

6
I
1

II
2

2

4
が どの
育つ や
の っ
か た
(同意可) ら
ア
ゲ
ハ
チ
ヨ
ウ
ウ
の
幼
虫

配点	
1・2・5・3	各2点×13=26点
2	6点
その他	各4点×17=68点
〈計〉100点	

1 「着用」は、衣服などを身につけることである。

2 「短」は左側の「矢」と右側の「豆」を逆に書かないようにしよう。送りがない「い」なので、正確に覚えておこう。

3 「湖」は、周囲を陸地に囲まれ、広く水をたたえたところである。日本最大の湖は琵琶湖である。

4 「自負」は、自分の能力・学問・仕事などに自信を持ち、ほこりに思うこと。

5 「岸」の最後の三画は「千」ではなく「干」である。細部まで正確に書こう。

6 「飲」は左側のしよくへんの形に気をつけて書こう。

2

1 線①のように言ったお兄ちゃんがこのあと庭へ飛び出し、ミカンの木をじっと見て「やっぱり、さっき産んでたんだと
言っていることから、——線①と言ったときにはすでにアゲハチョウがたまごを産んだことを予想していたことがわかる。

2 アゲハチョウのたまごを見ながら「②」になるの、見たいなあ」と言った咲良に対して、「そうだな。これから毎日観察しよ
うぜ」とお兄ちゃんが答え、その後、二人が毎日たまごを観察したりアゲハチョウの本を図書館で借りてきたりしていることか
ら考えよう。「成虫」などということばをさがそうとしてもそういったことばが本文中にはないので、「アゲハチョウ」が答えと
なる。

3 それぞれ直前の咲良の発言にも注目しつつ考えよう。どれもアゲハチョウに対して興味津々な咲良のようすがうかがえるの
で、「おこったように言った」はいずれにもはいらぬことがわかる。(③)は直前で「ふ化って、なあに」と疑問に思っ
ていることから、「首をかしげた」がふさわしい。「目をまるくさせた」は(④)にも(⑤)にもは入りそうだが、目だと
思っていたのが模様だと知ったこと、直後に「うん、びっくりだろ」というお兄ちゃんの発言があることから、(⑤)に入
れるのがよりよいことがわかる。

4 線⑥の直前の「…育たないかもなあ」「ええっ、じゃ、どうするの」という会話のあとで「うーん…」と考えていたお兄
ちゃんが、直後で「よおつし、アゲハチョウの幼虫、おれたちで育ててみるか」と言っていることから考えよう。

5 A「口出し」とは、他人が話しているときにそばからわりこんで口を利くこと。B「口車にのる」とは、うまい言い回しにだ
まされること。C「口うらを合わせる」とは、あらかじめ相談して言うことが食いちがわないようにすること。

6 ここより前の場面で、二人がアゲハチョウのふ化について本で調べていたり、幼虫がアゲハチョウになるまで世話することを
約束したりしていることをふまえて考えよう。「ここよりあとの部分から」という問いの指示にも気をつけてさがそう。

7 事故のせいで見られなかったお兄ちゃんどちがい、咲良は見ようと思えば見られたはずである。にもかかわらず見られなかっ
たということは、気が向かなかったということである。——線⑧の直後の「庭」「ミカンの木」はお兄ちゃんとの楽しかった過去
を思い起こさせるものであることから考えよう。

8 「ふ化したはずの、三匹のアゲハチョウの幼虫」がいなかったことをうけて「みんな、いなくなっちゃった」と思ったことか
ら、「みんな」がまず「三匹のアゲハチョウの幼虫」を指していることはわかるだろう。ただ、この場面では幼虫だけでなく、お
兄ちゃんもいなくなってしまったこともふまえる必要がある。お兄ちゃんがいなくなり、お兄ちゃんといっしょに育てようと約
束していた幼虫もいなくなってしまうことから、強い喪失感を覚えたのである。

3

1 「(①)による(②)が原因で気温が上昇する」が直前の二文の「近年は地球全体の気温が上昇傾向にあります。この
原因のひとつが人間によって作り出された温室効果ガスです」のまとめになっていること、直後の③段落が「地球温暖化で…」
からはじまっていることから考えられる。

2 (A)の前とあとでは「温室効果ガス」から「温室効果」に話題が切りかわっている。(A)には話題転換のは
たらきを持つ「では」がはいる。(B)の前とあとでは「温室効果ガスが存在しない地球」について同じことを述べている
ので、(B)には言いかえ・まとめのはたらきを持つ「つまり」がはいる。(C)の前には、あとの「世界で協力し合い、
各国が大気中の温室効果ガスを減らすようにして」いる理由が書かれているので、(C)には順接のはたらきを持つ「そこ
で」がはいる。(D)の前後には、「地球温暖化」が進むとどういふ悪影響が発生するかが書かれているので、(D)に
は並列のはたらきを持つ「また」がはいる。

3 「温室」のしくみについて「ガラス」を用いて説明している④・⑤段落に注目しよう。「ガラスは太陽光をそのまま通すので、
太陽によって地面が温められます。一方、地面から放出された赤外線はガラスに反射し…さらに地面が温められる」とある。

4 I 線⑤の前に「地球温暖化問題を語るうえで」とあるので、「温室効果ガス」によって「地球温暖化」が進むことが書か
れている段落をさがせばよいとわかる。

II 「欠かせない存在」ということは、「温室効果ガス」の長所を答えればよいとわかる。——線⑤の次の段落に「温室効果ガ
スがあるおかげで…ですから、温室効果ガスは地球にとって非常に大切なのです」とある。

5 線⑥より前では「工業」について書かれていたので、ほかの原因はここよりあとに書かれていると考えられる。——線⑥
の直後の一文が「…これも温室効果ガスの発生につながっています」となっているので、ここに注目しよう。

6 I ⑨段落に「メタンガスは、大気中に含まれる割合は二酸化炭素よりも低い」とある。

II ⑧段落に「産業革命以降…産業を発展させてきました。それにより…二酸化炭素は…上昇したのです」とあるが、「太古か
ら、地球の気候は温暖化と寒冷化を繰り返してきました」と①段落にあるので、「産業革命をきっかけにはじめて」という部
分がおかしい。